

Rockustics®

ULTRA-FIDELITY OUTDOOR SPEAKERS



XT-POWERROCK

設置マニュアル

Rockustics® Rockスピーカーを取り付ける前に、以下の指示をよくお読みください。
設置に関してご質問がある場合は、オーディオオーディオブレインズにお問い合わせください。

基本接続

(図A) 岩の下側にあるスピーカーケーブルを見つけます。
必要に応じて、ケーブルの端を剥ぎ取り、適切な長さに切断します。
付属のシリコンワイヤナットを使用して、スピーカーのプラス（赤）と入力を接続します。
マイナス（黒）でこの手順を繰り返します。
Rockusticsは、アンプとスピーカーの接続にAWG14以上の直接埋設ケーブルを使用することを推奨しています。

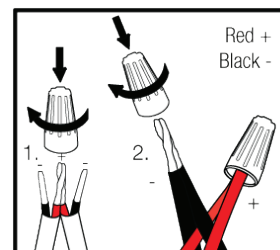


Diagram A

注：付属のワイヤナットは、恒久的な取り付け専用です。
スピーカーを一時的に配線する場合は、これらのワイヤナットを使用しないでください。
ワイヤナットを使用し、システムを再配線する必要がある場合は、ナットを緩めないでください。
代わりに、ナットの下にケーブルをクリップし、防水ワイヤナットの新しいペアを使用して基本配線セクションの手順に従います。

最高のサウンドを得るためのスピーカー配置の最適化

すべてのRockusticsスピーカーは、高いSPL（音圧レベル）を生成できます。
最大音響性能は、スピーカーの配置を決定する上で重要な要素です。これを実現する方法は次のとおりです。

- 1) 最も可能性の高い、または平均的なリスニングポジションがどこにあるかを確立します。
- 2) スピーカーは、そのポイントから同じ距離またはその近くに配置する必要があります。
- 3) リスニング位置とスピーカーの位置との間の実際の距離は重要ではありません。
ただし、リスニングエリアとスピーカーの間の距離が長くなると、知覚される音量が著しく減少することに注意してください。
- 4) アンプの電力がスピーカーの電力定格と一致していることを確認してください。
スピーカーを過度に運転すると、保証対象外の恒久的な損傷につながる可能性があります。

スピーカーの配置による外観の最適化

すべてのRockustics製品は、植物やその他の造園機能の近くに配置できるように、高周波応答が向上するように設計されています。茂みや灌木の近くにカムフラージュされた、あなたの造園内に製品を自由に配置してください。
Rockustics製品は、周囲の自然の美学に溶け込むように努めています。

スピーカーからステレオまたはオーディオソースまでの配線を考慮してください。
可能であれば、地表から3cm下にケーブルを配線してカムフラージュします。

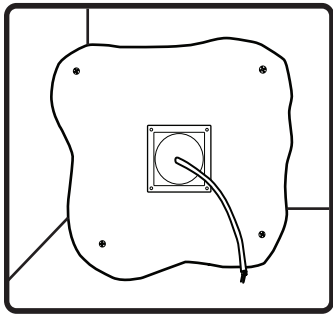
注意とメンテナンス

Rockustics Rockシリーズのスピーカーはすべて密閉され、完全に耐候性があります。ただし、グリルがスプリンクラーシステムの経路にある場所にスピーカーを置かないでください。スプリンクラーの水圧レベルは一般的に高いため、直接当たるとスピーカーコーンを損傷する可能性があります。

スピーカーグリルの上に土や木片を置かないでください。グリルに土がたまると、スピーカーが損傷する場合があります。蓄積が発生した場合は、弱い水圧のガーデンホースでグリルをすすぐだけにしてください。蓄積された土壌は、スピーカーへの望ましくない昆虫の移動も促進する可能性があります。昆虫はスピーカーコーンを介して食べる可能性があります。化学スプレーは、スピーカーサラウンドのゴムに損傷を与える可能性もあります。これには、昆虫スプレー、デッキシーラント、一部の肥料、油性製品が含まれます。庭でこれらの処理または化学物質を適用するときは、スピーカーをカバーする必要があります。

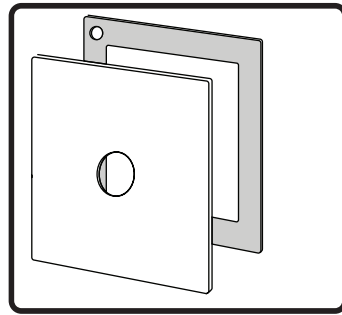
冬季に雪や氷が発生する環境では、再生する前に、開口部とウーファーコーンがきれいで、これらのエリアに雪や氷が固く詰まっていないことを確認してください。コーンに氷や雪がある場合は、低めの設定のヘアドライヤーを使用して溶かしてください。冬季にスピーカーを使用しない場合は、スピーカーを取り外して屋内に持ち込むか、スピーカーのコンポーネントを保護するためにビニール袋で覆うことをお勧めします。

セットアップ



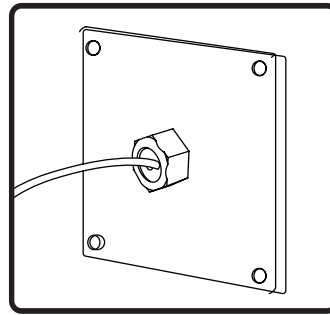
1. ケーブル

スピーカーの下側にあるスピーカーケーブルを見つけます。必要に応じて、ケーブルの端を取り除きます。



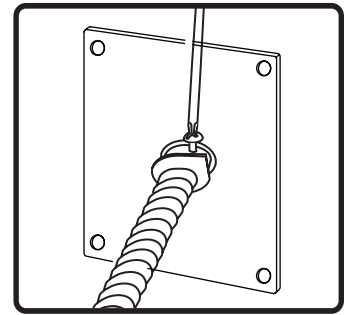
2. ガasket

ガasketをカバープレートの滑らかな側に取り付けます。



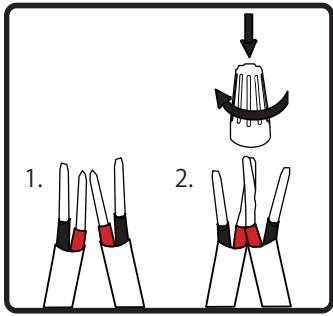
3. ケーブルクランプ

付属の防水ストレインリリーフグランドをカバープレートに取り付け、信号線を通します。



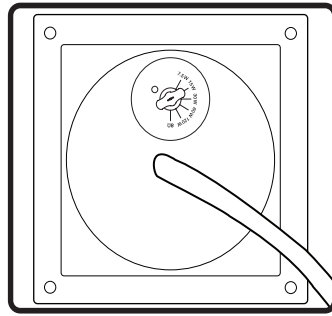
4. 導管

コンジットクランプをカバープレートに取り付けます。コンジットコネクタを取り付けるには、カバープレートの開口部を大きくする必要がある場合があります。コンジットクランプに信号線を通し、コンジットクランプを取り付けます。



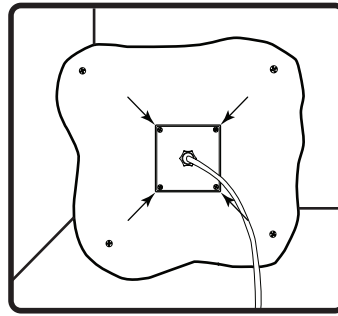
5. ケーブル接続

スピーカー線を入力信号線に接続します。赤は正、黒は負です。付属のワイヤーナットを使用して、接続を固定します。スピーカーの下側のポケットにケーブルとワイヤーナットを押し込みます。



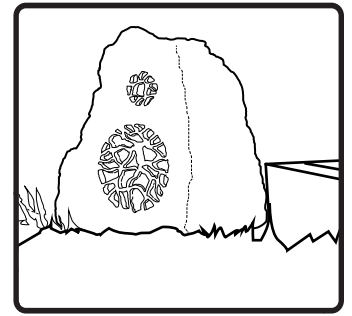
6. タップ設定

タップ設定を変更するには、スピーカー下のタップスイッチを見つけます。小型のマイナスドライバーを使用して、スイッチを希望の設定に調整します。タップスイッチは、120W、60W、30W、15W、およびトランスバイパス（8Ω）の位置を持つ6ポジションのロータリースイッチです。タップスイッチは、工場出荷時100Wの最大出力に設定されています。



7. カバープレート

スピーカーの下側のポケットにカバープレートを置き、付属の4本のネジで固定します。コンジットを使用している場合もこのプロセスは同じです。



8. 完了